



診療を担当された医師の皆様が一巡した五月十七日までの四十七日間の利用者は、当初の予想をはるかに超える七百五十九人で、一日平均十六人となっております。特に五月三日から五日の三連休中は、混雑が予想されたことから、看護婦などスタッフの増員を図り対応したところ、利用者は一日平均六十二人となりました。

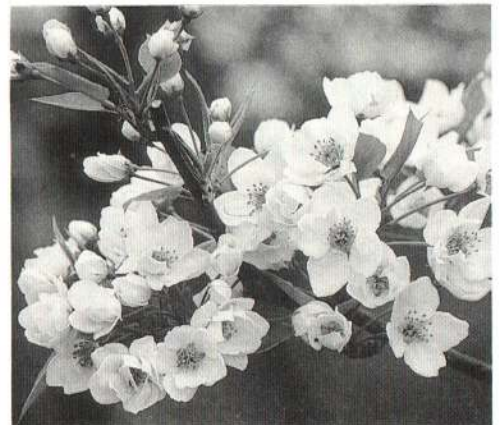
今後、急患センターの運営につきましては、市民はもとより比内町、田代町の皆様へも広くご利用を促すとともに、各関係機関などとも連携を密にして地域医療体制の充実に、より一層努めてまいります。

一周年を迎える 大館樹海ドーム

大館樹海ドームは、昨年六月三十日の工事の完了以来、開館記念としてプロ野球イースタンリーグや大相撲巡業大館場所の開催など様々なイベントを実施し、市民の皆様から活発なご利用をいただいています。

平成九年度の実績では、総入場者数二十万八千五百五人、利用率は九八・七％でありました。入場者数、利用率とも当初の見込みを大きく上回る結果となり、冬場におけるハンデいの解消及び市民の福祉の増進と、活力ある地域社会の実現に寄与しているものと考えています。今後とも、気軽に利用いただけるよう、運営に意を注いでまいりたいと考えております。

次に、樹海ドームオープン一周年記念行事についてであります。来たる八月二日、日曜日に「大館樹海ドーム誕生祭」として「ギネスに挑戦世界一の折り鶴」などの催しを予定しています。さらに、八月十五日には「ドーム一周年記念サマーレイブ'98」として「TRF」のコンサートが開催されることになっておりますので、ご期待いただきたいと存じます。



農作物の生育は 平年より早め

農作物の生育状況については、水稲は播種の盛期が四月十五日となっており、平年比で一日遅れました。中旬以降の高温多照により、軟弱・徒長苗が目立ち、また、苗枯病の発生も見られました。田植えの始まりは五月十日と平年比で四日ほど早く、気象が温暖に経過したため、活着はおおむね順調に推移しています。

今後の気象予測では平年並みとされていますが、葉いもちの発生が懸念されますので、稲作技術情報「あぜみち」などにより病害虫防除の徹底に努めてまいります。野菜については、五月一日の降霜により葉先枯れの作物も見られ

ましたが、その後は順調です。果樹については、開花の満開期が平年よりも二週間程度早く、リンゴでは開花量も十分で結実が極めて良い状況です。しかし、ナシについては幸水が結実不良で、収量の落ち込みが心配される状況にありますので、早い生育ステージに合わせた作業体系の指導を実施いたします。

今後は気象情報に意を配し、各関係機関と連携を密にしながら、指導の徹底に努めてまいります。

そのほかの行政報告

- ◇日本都市問題会議大館シンポジウムの開催について
- ◇秋田ワールドゲームズ2001の開催について
- ◇平成九年度の各会計決算見込みについて
- ◇公共事業の発注計画について
- ◇臨時福祉特別給付金の支給などについて
- ◇市営三井田工業団地への企業誘致について
- ◇農林水産物直売施設「ゆきさわ産直センター」の利用状況について
- ◇第62回国民体育大会に向けた取り組みについて
- ◇長走風穴館のオープンについて